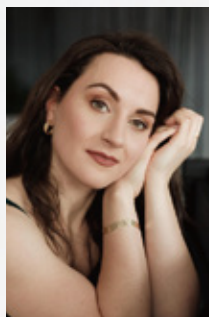




音楽の都ウィーンから、弦楽合奏とハープ、ソプラノの芳醇な調べ 至高のバロックから幻想的なロマン派まで、時代を超えた珠玉の名曲

表現力豊かで息の合った弦楽器と清らかなソプラノの歌声。音楽の魅力を改めて感じさせ、心を満たしてくれるメロディーの数々。毎年このステージを見なければクリスマスを迎えられないという多くのファンの期待に応え、「クリスマス／アヴェ・マリア」は2000年の開催以来、今回で24回目の公演となる。今年、音楽の都、ウィーンで活躍する音楽家を中心に結成された、ウィーン室内弦楽オーケストラがクリスマスにぴったりの名曲を届けにやって来る。基本編成は弦楽合奏(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス)。曲目により、それにソプラノやハープが加わり、ハーモニーが幻想的な色彩を放つ。ソプラノによって歌われるJ.S.バッハ、シューベルト、カッチーニによる「アヴェ・マリア」では、弦楽器と調和し、豊かに響き渡る歌声に心を揺さぶられる。長きにわたり多くの人に愛されてきたこれらの曲に演奏家たちが息を吹き込み、聖母マリアの優しさに包まれるような至福の「アヴェ・マリア」を堪能できるだろう。名曲の数々を質の高い演奏で聴かせてくれる、特別なコンサート。心あたたまると時をお過ごしください！

アレクサ・ドロッチャ・サボ(ソプラノ)



7歳からヴァイオリンとピアノをはじめ、その後すぐに歌の才能を開花させた。コダーイ・ゾルターン小学校へ入学、セーチェニ・イシュトヴァーン大学で声楽の学士号、同大学院にて声楽指導者の修士号を取得した。その後、リスト音楽院へ進学し、オラトリオなどを中心に研鑽を積む。モーツァルトを得意とし、「レクイエム」のソリスト、ジュール国立劇場にて「フィガロの結婚」/バルバリーナなどに出演。

チェンゲ・アンナ・ビガニ(ソプラノ)



幼い頃より、ピアノ、ヴァイオリン、フルート、歌、民族舞踊を始め、ベラ・バルトーク音楽高等学校、セーチェニ・イシュトヴァーン大学、同大学院にて声楽を学ぶ。その後デブレツェン大学にてオペラを中心に研鑽を積んだ。ウィーン・ダヌビア・タレント国際音楽コンクール第1位。オペラでは、ドニゼッティの「リタ」タイトルロール、メノッティの「電話」ルーシーなどに出演している。

ウィーン室内弦楽オーケストラ



音楽の都ウィーンを拠点に活動するソリストを中心に結成された弦楽合奏団。メンバーは国際コンクールでの入賞歴などを持つ実力派で、才能ある若手奏者たちに経験豊富なベテラン奏者が交じり、エネルギッシュなハーモニーを生み出す。クラシックをはじめ、多彩なジャンルをレパートリーに持ち、さまざまな個性を持つ演奏者が創り出すアンサンブルの一体感や、調和のとれた美しい音色は多くの聴衆を魅了している。

【ご注意とお願い】 ※チケットをご購入の際は、あらかじめ下記のことをご了承くださいますようお願い申し上げます。

■記載されている情報は2024年7月現在の予定です。諸般の事情により出演者、曲目など、公演内容が変更になる場合がございますが、公演中止など、主催者がやむを得ないと判断する場合以外のチケットの払い戻しはいたしません。最新の情報については光臨社ホームページ(<https://www.koransha.com/>)にて発表しますので、チケットご購入後は、随時ご確認いただきますようお願いいたします。■未就学児のご入場はご遠慮ください。■チケットご購入後の変更・キャンセルはできませんので、予めご了承ください。■会場内における飲食、喫煙はご遠慮ください。■写真撮影、録音、録音等は一切禁止させていただきます。■開演後のご入場は制限させていただきます場合がございます。■公演中は、他のお客様のご観賞の妨げになる行為(話し声、過度なブラボーなどのお声掛け)はお控えください。■注意事項をお守りいただけない場合、主催者側の判断でご入場のお断り、または途中退場をお願いする場合がございます。